

## 2) DID との重ね合わせ

昭和 35 年時点 DID、昭和 35 年から平成 17 年の間に新たに DID 化した地域において浸水実績区域を把握した。概要は以下のとおりである。

- ・南区中心部、秋葉区中心部、西蒲区の DID では、周囲が浸水実績区域であるのに対して、浸水実績区域に含まれていない範囲が大きい。(図 2-42 参照)

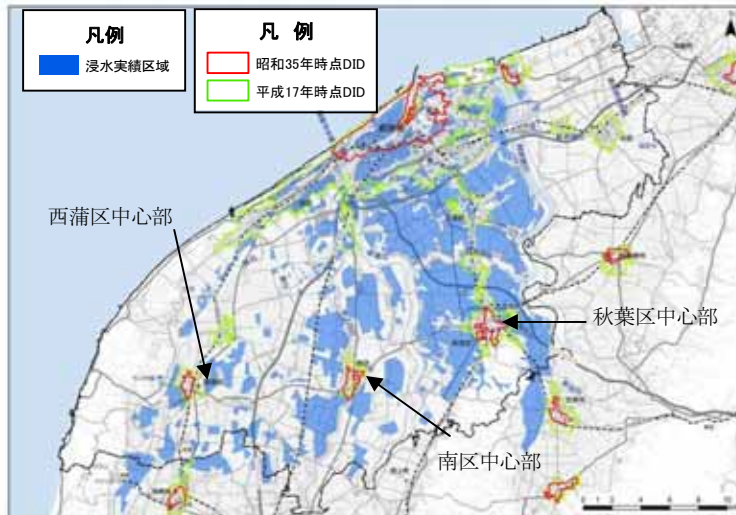


図 2-42 浸水実績区域と DID の重ね合わせ図

## 3) 高齢化率および昼夜間人口比との重ね合わせ

浸水実績区域において高齢化率の高い地域、昼夜間人口比の大きい地域の状況を把握した。概要は以下のとおりである。

- ・浸水実績区域は、高齢化率の高い新潟島（万代島）、昼夜間人口比が 500%を超える鳥屋野潟南部にも広がっている。(図 2-43 参照)

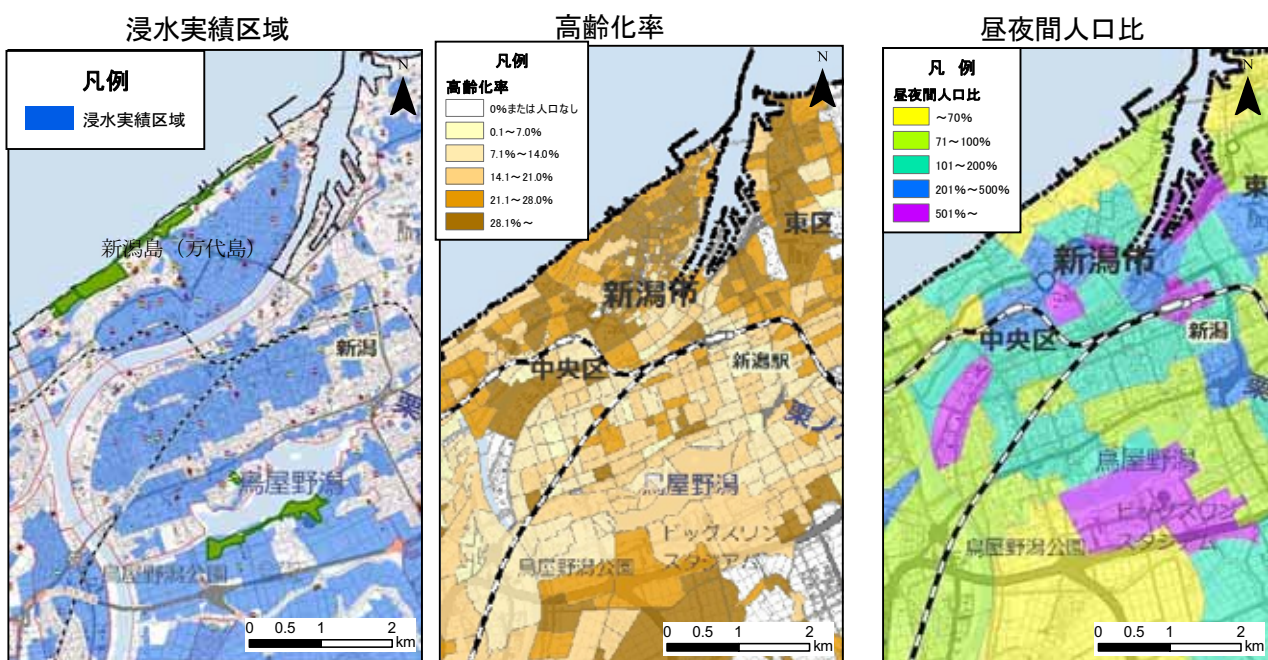


図 2-43 新潟市中心部の想定震度分布と社会特性

## 2-3-4 土砂災害警戒区域等と土地利用の重ね合わせ

土砂災害警戒区域等における市街化区域の状況を把握した。概要は以下のとおりである。

- ・土砂災害警戒区域等は、西部の角田・弥彦山、東南部の新津丘陵に集中している。(図 2-44 参照)
- ・秋葉区のみ市街化区域内に土砂災害警戒区域等があり、面積は約 17ha、居住者は約 300 人となっている。(図 2-44、表 2-8 (P49) 参照)

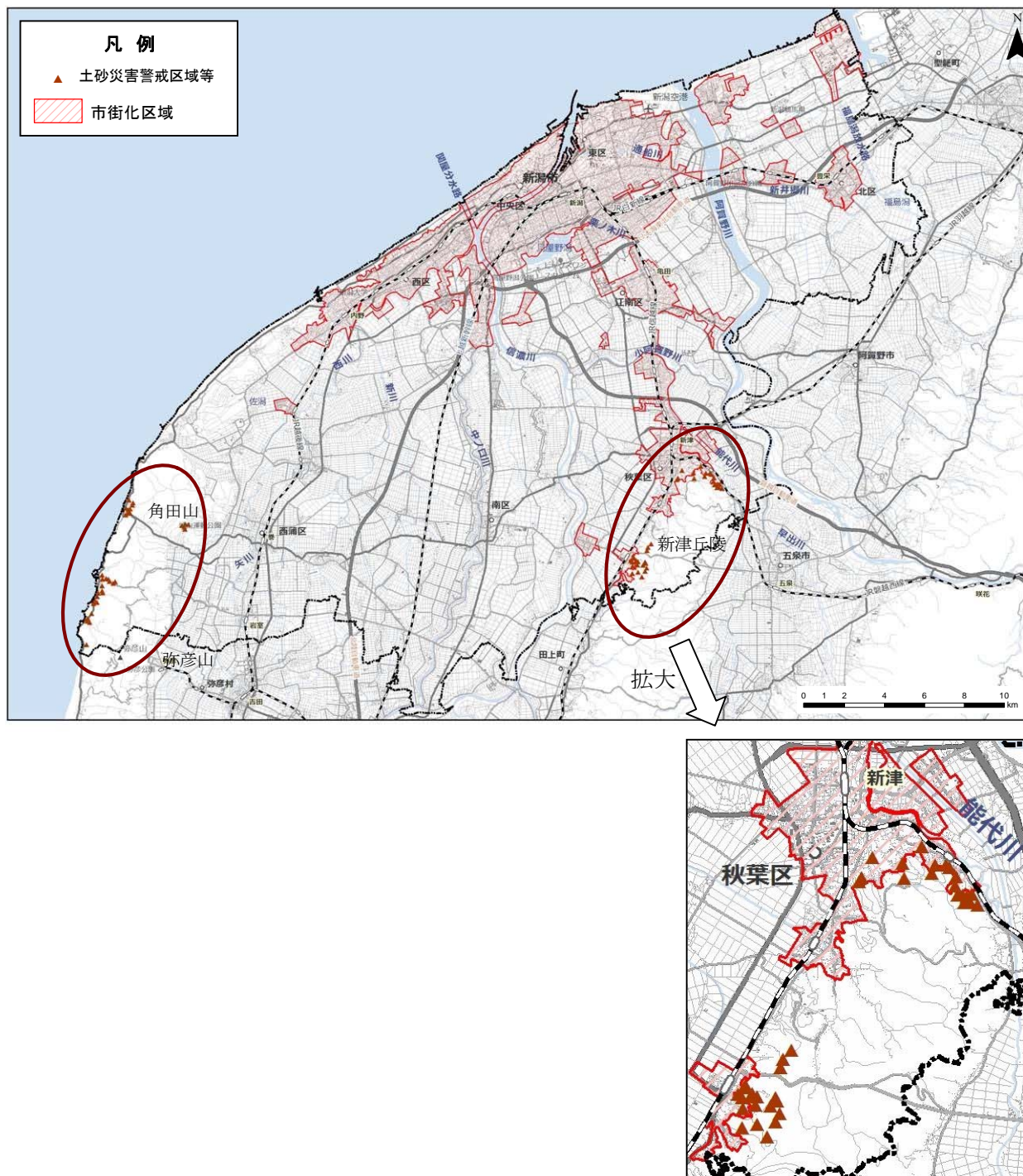


図 2-44 土砂災害警戒区域等と市街化区域の重ね合わせ図

### 2-3-5 災害リスクと土地利用の重ね合わせに関する定量評価の試行

災害リスクと土地利用の重ね合わせにおいて、具体的な被災の影響の程度を確認するために、災害リスクを有する面積とその地域に居住する人口と高齢化率について定量的な把握を試行した。地震・津波・水害の各災害による被害の影響範囲等の定量評価結果を表2-8に示す。

表2-8 新潟市の災害リスクの定量評価結果

	面積 (平方km)			人口(町字ごとの面積按分) (人)			高齢化率 (%)	避難施設			主な公共施設			
	うち市街化 区域	うちDID拡 大地域		うち市街化区 域	うちDID拡 大地域			屋内 避難所 (箇所)	屋外 避難所 (箇所)	広域避 難場所 (箇所)	市役所 区役所 (箇所)	警察署 消防署 (箇所)	病院 (箇所)	要援護 者施設 (箇所)
全市	726.10 (100%)	108.34 (100%)	76.42 (100%)	813,847 (100%)	536,893 (100%)	410,525 (100%)	20.5	371 (100%)	167 (100%)	15 (100%)	9 (100%)	44 (100%)	49 (100%)	189 (100%)
想定震度6強 (中央部の地震)	376.83 (52%)	78.15 (72%)	48.66 (64%)	545,567 (67%)	407,021 (76%)	281,853 (69%)	20.0	213 (57%)	119 (71%)	13 (87%)	6 (67%)	30 (68%)	34 (69%)	114 (60%)
液状化危険度大 (中央部の地震)	172.00 (24%)	46.56 (43%)	27.01 (35%)	256,525 (32%)	197,007 (37%)	129,829 (32%)	21.0	107 (29%)	42 (25%)	9 (60%)	3 (33%)	14 (32%)	17 (35%)	60 (32%)
津波浸水想定区域	2.22 (0%)	1.14 (1%)	0.83 (1%)	6,661 (1%)	6,027 (1%)	238 (0%)	23.8	1 (0%)	0 (0%)	2 (13%)	0 (0%)	1 (2%)	0 (0%)	2 (1%)
浸水実績	225.28 (31%)	44.55 (41%)	25.49 (33%)	341,214 (42%)	302,043 (56%)	180,082 (44%)	20.3	86 (23%)	51 (31%)	8 (53%)	3 (33%)	16 (36%)	17 (35%)	60 (32%)
浸水想定区域	616.40 (85%)	79.53 (73%)	53.42 (70%)	598,999 (74%)	361,065 (67%)	300,101 (73%)	19.5	273 (74%)	128 (77%)	8 (53%)	6 (67%)	41 (93%)	30 (61%)	143 (76%)
想定浸水深 ～0.5m	68.91 (9%)	21.45 (20%)	17.28 (23%)	135,286 (17%)	94,243 (18%)	83,170 (20%)	20.0	63 (17%)	22 (13%)	2 (13%)	2 (22%)	10 (23%)	10 (20%)	36 (19%)
想定浸水深 0.5～1.0m	89.97 (12%)	24.79 (23%)	16.70 (22%)	179,853 (22%)	142,411 (27%)	106,240 (26%)	19.0	78 (21%)	43 (26%)	2 (13%)	1 (11%)	11 (25%)	5 (10%)	39 (21%)
想定浸水深 1.0～2.0m	294.30 (41%)	22.74 (21%)	12.60 (16%)	182,049 (22%)	81,030 (15%)	70,887 (17%)	22.0	79 (21%)	27 (16%)	3 (20%)	2 (22%)	12 (27%)	9 (18%)	41 (22%)
想定浸水深 2.0～5.0m	160.86 (22%)	10.54 (10%)	6.83 (9%)	101,578 (12%)	43,371 (8%)	39,794 (10%)	20.1	53 (14%)	36 (22%)	1 (7%)	1 (11%)	8 (18%)	6 (12%)	27 (14%)
想定浸水深 5.0m～	2.36 (0%)	0.00 (0%)	0.00 (0%)	233 (0%)	10 (0%)	10 (0%)	21.5	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

## 2-4 災害リスク情報の提供方法の検討

災害リスク情報の提供方法に関する検討を行うために、調査その2での社会実験の場を活用し、市民への災害リスク情報の提供方法について検討を行った。

具体的には、新潟市における災害リスク情報を収集した上で、モデル地区の詳細な災害リスク情報として整理し、社会実験参加者に提供した。提供資料に対する市民の評価結果をもとに、災害リスク情報の提供方法について検討を行った。



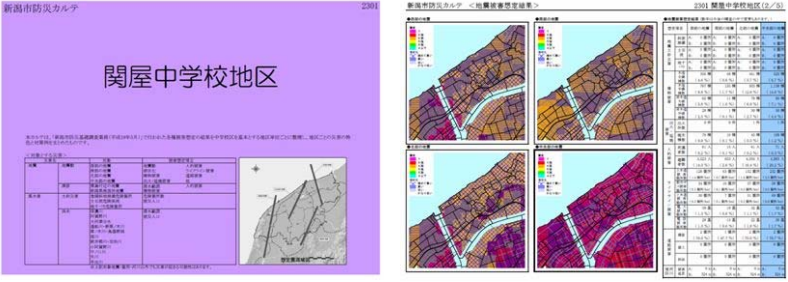
### 2-4-1 災害リスク情報の認識状況

#### (1) ハザードマップの公表状況

新潟市におけるハザードマップの公表状況は、洪水ひなん地図が全戸配布されているとともに、市のホームページにおいて、防災カルテが公開されている。

また新潟県のホームページ等で、土砂災害、津波、洪水に関する情報が公開されている。

#### 【公表されている災害リスク情報】

<p>■洪水ひなん地図：新潟市（全戸配布）</p> 	
<p>■防災カルテ：新潟市ホームページ</p> <p>地震(想定震度、液化化危険度、建物被害発生率、火災被害発生率、死傷者発生率、避難者発生率)、津波、洪水、土砂災害危険箇所（急傾斜地）</p> 	
<p>■土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域：新潟県土木部砂防課ホームページ</p>	
<p>■津波浸水想定図：新潟県防災局防災企画課ホームページ</p>	
<p>■浸水想定区域図：国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所ホームページ および新潟県土木部河川課ホームページ</p>	